

## Section 1

### 【解答】

1. c 2. a 3. e 4. a 5. d

### 【解説】

1. Not that I know of 「私の知る限りではそうではありません」 確信できない時に、断定的に答えるのを避けるのに用いられる。
2. standard childbirth practices vary from country to country 「標準的な分娩の仕方は国によって異なる」 practices vary の<SV 関係>を捉える。
3. a. Otherwise と b. Thus は副詞で、節と節とを連結できないので選択肢から外す。文脈から、日本とオーストラリアの医療制度が対比されているので、e. While を選ぶ。
4. and を媒介に節と節とが連結されているので、a. are not able to になる。
5. 「(科学的)根拠に基づく医療と継続的に更新される臨床研究に基づく指針を重視することは、アメリカ合衆国における医学教育の核心をなしている」 Emphasizing の目的語が evidence-based medicine と guidelines ~ research であることを捉える。なお、e. updating continuously based on guidelines は、update は他動詞なので不可。

## Section 2

### 【解答】

1. b [illustrate → illustrates]
2. d [which it → which]
3. e [rather be → rather than (to) be]
4. a [teaching us → teaches us]
5. b [treatments result → resulting]

### 【解説】

1. 「一連の調査結果によって、身体活動と骨ミネラル濃度とに直接的な関係があることが示されている」 a series of + 複数名詞が主語になる場合、動詞は series に単数一致する。
2. 「幾つかの調査で、農村地方と比べて、都市圏に住んでいる人たちに呼吸器症状が増えていることが報告されているが、それは都市部の大気汚染の増加と関係があるかも知れない」 which it ~ settings は不完全文である。節中の主語は which なので、it を取る。
3. 「日本人の高齢者たちと比べると、カナダ人の高齢者たちは自立心が強く、養護施設に入居するよりも、自分たちが住み慣れた住居や町に居続けることを好む」 prefer to do rather than (to) do 「…するよりむしろ～する方を好む」という比較構文を形成している。
4. 「3月11日の東日本大震災は、私たちに、災害医学は負傷者に対する救急医療だけで

はなく、慢性病や精神疾患のようなより広範な病気を管理することも必要であることを教えている」 The Great East Japan Earthquake on March 11 を受ける述語動詞が必要。

5. 「現代の医療技術による延命治療が受けられるので、尊厳死は考えるべき問題である」 Due to は前置詞であるので、その後ろは名詞句になる。result だと節構造になってしまうので、それを **resulting** という現在分詞に変える。そうすると、**resulting** ~ **technologies** が形容詞句として **life-prolonging treatments** を修飾する構造になる。

### Section 3

#### 【解答】

1. d 2. e 3. d 4. a 5. d

#### 【解説】

1. project one's voice 「声を出す」 *e.g.* Actors must learn to project their voices. : 俳優は声の出し方を学ばなければならない。
2. run in one's family 「～の血筋である」
3. as a rule of thumb 「大雑把に言って」
4. all in all 「大体において」 すべて副詞なので、文脈から検討する以外にない。b. at short notice 「急に」 c. down and out 「落ちぶれ果てて」 d. in round numbers 「概数で」 e. simple and plain 「簡単明瞭な」
5. pins and needles 「しびれ」 a. first and foremost 「真っ先に」, b. high and dry 「見捨てられて」, e. to and fro 「行ったり来たり」は副詞なので、feel の補語にならない。c. part and parcel 「重要部分」は論外。

### Section 4

#### 【解答】

1. c 2. e 3. b 4. c 5. d

### Section 5

#### 【解答】

1. a 2. d 3. e 4. e 5. d

#### 【解説】

1. 「本文に基づくと、以下のうちのどれが “the *Journal*” を一番よく表しているか」 “*Journal*” がイタリックで書かれているのは、固有名詞で書名を表すからである。したがって、選択肢は、a. 「(投稿の)統一規定を満たす論文を受け入れる生物医学雑誌」か、e. 「(投稿の)統一規定に関して定期的な出版される生物医学雑誌」に絞られる。文脈から a が残る。

2. 「本文の内容を一番よく表しているのは、以下のうちのどれか」  
 d 「“the *Journal*” へ論文を投稿する前に知っておくべきことを筆者に説明する指示」  
 本文が、投稿規定に関する指示書だと分かれば解ける。
3. 「本文に関して正しいのは、以下のうちのどれか」  
 第 1 段最終文で、「同一研究の関連分野を扱った二本以上の論文が提出されても受け入れない」と述べられている。したがって、e. 「“the *Journal*” は特定分野の研究に基づく二本以上の論文は望まない」が正解。
4. 「本文に関して正しくないものは、以下のうちのどれか」  
 e. 「『生物医学雑誌に送られる原稿の統一規定』は」 Boston Porphyria Group によって出されてきた」 第二段最終文で、「International Committee of Medical Journal Editors によって出されている」と述べられていることに反する。
5. 「本文に関して正しくないものは、以下のうちのどれか」  
 d. 「著者と呼ばれるには、研究者は論文を整理編集するのに重要な役割を果たしてなければならぬ」 第 3 段最終文で、「著者は論文を整理編集する以外に、執筆で援助を受けたかどうかを示さなければならぬ」と述べられていることに反する。

## Section 6

### 【解答】

1. b   2. a   3. e   4. a   5. c

### 【解説】

1. 「本文に関して正しいのは、以下のうちのどれか」  
 b. 「医療分野における今日の進歩にもかかわらず、問診と診察は患者の治療において依然として重要な役割を果たしている」 第 3 段の内容に一致する。
2. 「本文に関して正しいのは、以下のうちのどれか」  
 a. 「医師は、自らの宗教や個人的な信念が患者の治療法に影響を与えないように注意すべきである」 第 5 段第 3～4 文の内容に一致する。
3. 「本文に関して正しくないものは、以下のうちのどれか」  
 e. 「医師が患者に怒りや苛立ちを感じたとき、彼らは他者と自分の感情について話すべきではない」 第 6 段第 9 文で、「一人で、自己内省的に押し留めてしまうよりは、自分が信頼する人たちとそのような感情的問題について話しなさい」と述べられていることに反する。
4. 「本文の最初の二つのパラグラフを一番よくまとめているのは、以下のうちのどれか」  
 a. 「患者の考え方をよく理解することは、彼らが本当に心配していることを見つけて解決することにとって絶対に必要なことである」 第 1 段と第 2 段全体の内容から推測するしかない。

5. 「本文の最後の二つのパラグラフを一番よくまとめているのは、以下のうちのどれか」
- c. 「優れた医師は、患者との良好な関係を築くのに、患者が必要としていることに合わせる事が重要であることを理解している」 最終段第 1～2 文の内容に一致する。

## Section 7

### 【解答】

1. glance
2. painful
3. encourage
4. drowned
5. devoted
6. headlines
7. gazed
8. chief
9. found
10. enormous

## Section 8

### 【解答例】

We have become more conscious about disastrous effects of radioactive materials on ecosystems. After the accident at the Fukushima nuclear power plant, high levels of radiation have endangered ecosystems. We have been made to know pride goes before a fall. (40 words)

### 【総評】

例年に比べると、全体的には、例年よりも多少難しくなっている。

SECTION 1～2 の語彙・文法問題は、一部の問題を除けば総じて簡単である。ただし、SECTION 1 の 1 で、いきなり *Not that I know of* を答えさせるのは難しいだろう。

SECTION 3 は、1 と 5 が難しい。2 の *run* は頻出である。

SECTION 4 の会話文問題は長いだけで、非常に簡単である。合格圏の受験生はほぼ全員が完答したであろう。

SECTION 5 は、入試英語でよく出題される雑誌である *New England Journal of Medicine* の投稿規定を引用したものである。医療系雑誌とはいえ、出題内容は医療とは全く異なるので、受験生は当惑したであろう。

SECTION 6 は、医療系英語に頻出の医療コミュニケーションに関する問題である。この分野は、医学部受験生が慣れているので、かなり容易に解けたであろう。

SECTION 7 の語彙問題は、ほぼ例年並みの難しさだろう。

なお、SECTION 8 に関しては、英作文のテーマとして、日大でこれほど固い内容が出題されたのは初めてである。固い内容であるが故に説明が長くなり、たとえ書くべき内容が決まったとしても、それを指定語数内に治めるのには苦勞したであろう。

以上を総じて、合格最低ラインは 80% ほどであろう。